

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 90



令和6年1月16日

今月のキーワード

小中学校外国語研修

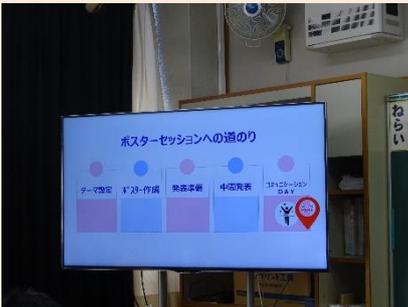
Shimotsuke English Forum

第2回小中学校外国語研修（学校会場研修） 南河内第二中学校

12月18日(月)に、南河内第二中学校にて第2回小中学校外国語研修を開催しました。1年3組において、川井 明子先生とALT トレシア先生による研究授業を行いました。東京家政大学 太田 洋先生を講師にお迎えし、指導・講話をいただきました。会場校の先生方には、大変お世話になり、ありがとうございました。

本時の目標：日本の社会問題を伝えるために、調べた事実や自分の考えを整理し簡単な語句や文を用いて話すことができる。

(授業の流れ) ①Small Talk → ②めあての確認 → ③デモンストレーション → ④発表の練習(個人) → ⑤中間発表(4人グループ) → ⑥手直し(個人) → ⑦発表(4人グループ) → ⑧シェアリング → ⑨まとめ



単元のゴールを示したスライド



Small Talk

単元のゴールを視覚的に示すことで、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができました。Small Talk でのALTとのやり取りは、本時の活動への意識付けを図る上で効果的でした。



中間発表

グループワーク(研修者)を通じて、ポスター発表についてお互いに評価をしよう			
発表者に対しては本部分にマークを付けること。			
発表者	原稿	発表の様子	評価の仕方
A	ポスターの構成が分かりやすい。図や写真が効果的に使われている。	発表の準備ができていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。	原稿の構成が良かった。図や写真が効果的に使われていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。
B	ポスターの構成が分かりやすい。図や写真が効果的に使われている。	発表の準備ができていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。	原稿の構成が良かった。図や写真が効果的に使われていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。
C	ポスターの構成が分かりやすい。図や写真が効果的に使われている。	発表の準備ができていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。	原稿の構成が良かった。図や写真が効果的に使われていた。話し言葉が丁寧で、聞き手が理解しやすいように話していた。

ループリック

中間発表では、ループリック(評価表)を用いて、お互いの発表を評価し合いました。発表者は、評価のポイントに沿ったアドバイスをもらうことで、ポスターや原稿の修正に生かすことができました。



ALT とのポスターセッション

12/21(木)に行われた「英語でコミュニケーションDAY」では、タブレットを活用してポスターセッションを行い、ALTに日本の社会問題を伝えることができました。発表の後に、ALTとやり取りを行うことで、ポスターの内容が深まりました。また、ALTの発表を聞くことで、外国の社会問題やよりよい発表の仕方について学ぶこともできました。ALTに自分の考えを伝えるために、積極的に英語で活動を行う生徒たちの姿が印象的でした。

Shimotsuke English Forum



12月16日(土)石橋公民館において、「Shimotsuke English Forum」を4年ぶりに開催することができました。英語プレゼンテーション発表会には、市内学校から6グループが参加しました。グループでアイデアを出し合い、創意工夫を凝らして作成したプレゼンテーションの発表の様子を紹介します。

緑小学校6年生



下野市のおすすめの場所とそのよさを紹介し、下野市の魅力を伝えることができました。

細谷小学校



ボディパーカッションを交えて、細谷小の特色や子供たちの様子を紹介しました。

緑小学校5年生



憧れの人物「スティーブ・ジョブズ」について、その人生や憧れたポイントを紹介しました。

石橋中学校



下野市を好きになってもらうために、姉妹都市や食べ物、学校内にある自然など、3つのポイントを紹介しました。

南河内第二中学校



学校の歴史や文化祭の様子、校則の見直しなど、30周年を迎えた南河内第二中の様々な魅力を紹介しました。

国分寺中学校



「下野マスター」を目指して、下野市の食べ物や名所などをクイズ形式で分かりやすく紹介しました。



ALT との国際交流会の様子

文責 石崎 真清



Shimotsuke English Forum にご参加いただきありがとうございました。また、英語プレゼンテーション発表会に向けての準備や事前の指導も、大変お世話になりました。どのグループも、日頃の英語学習の成果を生かして、すばらしい発表を行うことができました。今後も、「しもつけ未来学習」を通して、児童生徒が「英語で自分の考えや思いを発信できる力」を高めていくことができるよう、学習を進めてください。